

また、国、県道の破損箇所への対応については、県当局にすみやかに連絡し、できる限り早期の現場対応をお願いしているところである。

**問 岩谷トンネル付近の土砂くずれ放置の対応について**

答 すでに県に対応を依頼しており、早急に土砂取除きが行われる予定である。

**【放課後や休み時のしつけについて】**

**問 町内の学校での取り組みについて**

答 町内の小中学校では学校の教育目標や基本方針で基本的な生活習慣やしつけに関する内容を盛り込み、子ども達や家庭に働きかけを行っており、さらに年間を通して必要に応じ、学級通信や学校通信等を利用しての呼びかけも行っている。

夏休みや冬休みなどの長期休業中は、普段は時間がなく取り組むことが難しい内容の手伝いなどにチャレンジしたり、挨拶や規則正しい生活習慣のチェックを行ったりするなど、各学校で実際に合った取り組みを行っている状況である。

**【崩壊家屋への対応について】**

**問 これ以上進行しないための急いだ対応について**

答 崩壊家屋は、安全上の問題はもちろん、住民や旅行者に不快感を与える景觀上の問題や生活環境上の問題を引き起こすことも指摘されており、今後、

住民からの苦情や相談も増えてくるのではないかと心配している。不在となった家屋の適正な管理は、当然ながら所有者の責任であるが、その責任を問う十分な法的根拠はないと考えられる。しかし、今後この問題はより深刻となると思われ、自主防災組織による対応も含め、先進自治体の取り組み等を参考にして、より適切な対応ができるよう検討していきたい。

**【バス停修理に関する計画的取り組みについて】**

**問 修繕計画とその対応について**

答 12月議会定例会でも答弁したとおり、財政状況が厳しく、すべてを建て替えるのは無理があるため、必要などころから修繕等していきたいと考えている。平成25年度当初予算に若干ではあるが、所要の経費を計上している。

**【社会保障の実態について】**

**問 生活保護受給世帯数および人数の推移は、いずれも年度末数値で、平成17**

年度が55世帯67人、18年度が54世帯68人、19年度が59世帯73人、20年度が72世帯84人、21年度が76世帯94人、22年度が74世帯98人、23年度が75世帯97人となっており、合併後7年間で世帯数は20世帯、人数で30人増加となっている。

また、保護率については、平成24年12月末現在、県内20市町のうち12番目

となっているところである。

**問 被保険者資格証明書の交付人数および実態について**

答 現在、鬼北町で国保の被保険者資格証明書の交付世帯は1世帯1名となっている。

**問 孤独死・孤立死への対応について**

答 現在、独居高齢者の方々への見守り体制については、民生児童委員による定期的な家庭訪問や、状況に応じて役場の地域包括支援センター職員や保健師も訪問のうえ、健康状態などの適切な把握を行っている。

また、急病等緊急時の連絡手段として緊急通報装置を設置している世帯では、24時間体制で、通報により緊急通報受信センターを通じて協力員への確認依頼や役場への通報、また状況に応じては直接消防署への出動依頼もできるようにしている。

その他、配食サービスも週2回実施しており、配食ボランティアによる高齢者の安否確認と見守りを行っている。さらに今年度から、急病等の緊急時に迅速な救急救命活動が行えるよう、治療中の病气、かかりつけ医療機関、緊急連絡先等の必要な情報を容器に入れて冷蔵庫などの特定の場所に保管しておく「救急医療情報キット」を、申請により必要な世帯に無償配布しているところである。

**問 国民健康保険の加入状況等について**

答 国民健康保険の加入世帯数は、平成24年4月末現在で、2,212世帯、人数は3,646人となっている。

平成23年度については、2億4,443万8,422円の調定額に対し、2億3,323万4,249円の収納で、1,120万4,173円の未収入となっている。収納率は95・4割となっているが、世帯数、人数の内訳については、年間9期の納期があり、年度当初からの滞納者や途中からの滞納者もあり、また、年度途中での社会保険加入や、社会保険から国保への変更などがあるため、国民健康保険加入世帯の滞納に係る詳細な数字の把握は大変困難である。

あえて示すなら平成23年度以前からの滞納者数が96人に対し、平成23年度から新たに滞納となっている方が27名いるため、滞納者は増加傾向にある。

**問 年間所得200万円の世帯の国民健康保険税について**

答 資産などがない一人世帯で計算すると、概算で24万7,000円の国保税となり、介護保険料の6万4,400円などと併せると、ご指摘のとおり30万円を超える保険税になるが、保険税は所得・資産・均等・平等割りの4方式により計算されるので、この年間所得200万円という数字が低いのか高いのか、収入の種類によつては一概にいえぬ場合もある。ただ、近年の高